

とろろこんぶシステム工房

---

とろろこんぶ電子印鑑「承認はんこ」用  
**印影ファイル変換ツール**  
bmp2han Ver3.0.5 Rel.1  
ユーザーズガイド

2012-03-29

---

とろろこんぶ  
**電子印鑑**

## 目次

	ページ
1. 印影ファイル	2
2. インストール	3
2-1. インストールの準備	3
2-2. インストール	3
2-3. インストールされるファイルとフォルダー	7
2-4. アンインストール	7
3. ライセンス設定	8
4. メインダイアログ	9
5. 変換	10
5-1. ビットマップファイル（拡張子 .bmp）の準備	
6. 一括変換	12
7. 印影ファイル更新	14
Appendix A 印影ファイルの作成	16
Windows7/Windows Vista の場合	16
Windows XP の場合	24
Appendix B. セットアップツールに付加されているデジタル証明書について	28

このマニュアルは承認はんこ用印影ファイル変換ツール bmp2han Ver3.0.5 の使用法を説明したものです。

## 1. 印影ファイル

とろろこんぶ電子印鑑「承認はんこ」を用いるには印影ファイル(拡張子は han あるいは .hanx)が必要になります。

印影ファイルは 2011 年 11 月時点で、2100 姓の印影ファイルが用意されています。印影ファイルのリストは次の URL を参照ください。

<http://www.tororokonbu.jp/shanko/han/>

印影ファイルは印影ファイル変換ツール bmp2han を用いて作成することが出来ます。印影ファイルは 128X128 ドットのビットマップファイル(拡張子 bmp) から印影変換ツール bmp2han を用いて変換します。変換の際、印影のビットマップ情報とともに次の情報が印影ファイルに格納されます。

押印期限	印影ファイルに押印期限を設定します。 エンドユーザに配布する印影ファイルに有効期限を設定することでセキュリティを高めることができます。
登録キー	押印の際に印影ファイルに埋め込まれた登録キーがチェックされます。この機能によりセキュリティが確保されます。
ライセンス ID	印影変換ツール bmp2han に設定されたライセンス ID が設定されます。 体験版やパーソナルライセンス印影ファイルと差別化でき、セキュリティが高められます。

印影ファイルの元になるビットマップファイルの作成方法については Appendix A 印影ファイルの作成 を参照ください。

## 2. インストール

### 2-1. インストールの準備

インターネット上からダウンロードなどして入手した場合はファイル名が bmp2han\*\*\*.zip になっています。圧縮ファイルですので解凍してください。

解凍によって インストーラ setup.exe が生成されます。

また、フォルダーSampleBmp にはいくつかの印影ファイルの基になるイメージファイル(拡張子 .bmp) がありますのでご利用ください。

承認はんこのインストーラ setup.exe には グローバルサイン社発行のとろろこんぶシステム工房 代表 小野寺健一(Kenichi Onodera) のデジタル証明書が付加されています。

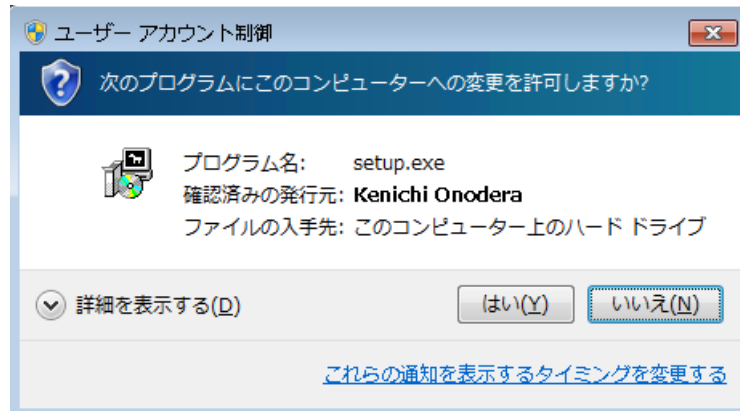
このバージョンの実行モジュールに付加されているデジタル証明書の有効期限は **2014 年 4 月 28 日** です。

### 2-2. インストール

手順 1) setup.exe をエクスプローラ上でダブルクリックするなどして実行します。

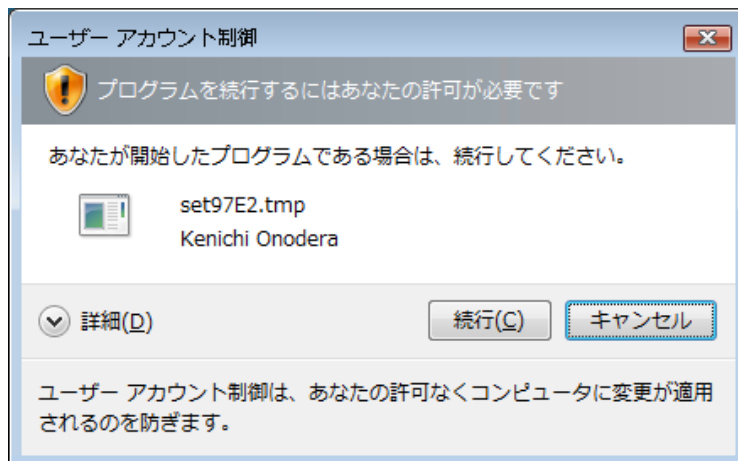
#### 【Windows 7 の場合】

右図の表示が出ますのでボタン「はい」をクリックしてください。



## 【WindowsVistaの場合】

右図の表示が出ますのでボタン「続行」をクリックしてください。

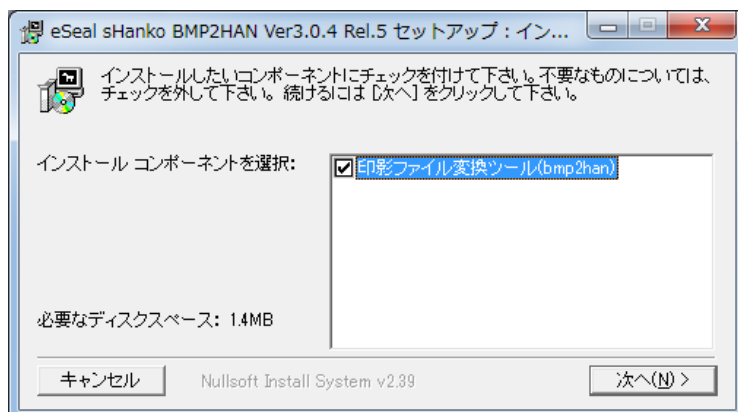


手順2) インストーラを起動すると確認のメッセージが表示されますのでボタン「はい」をクリックします。(右図)



手順3) インストールするモジュール「印影ファイル変換ツール (bmp2han)」を選択します。

ボタン[ Next > ]をクリックします。(右図)



手順4) インストールフォルダーを指定します。

ボタン[インストール]をクリックします。

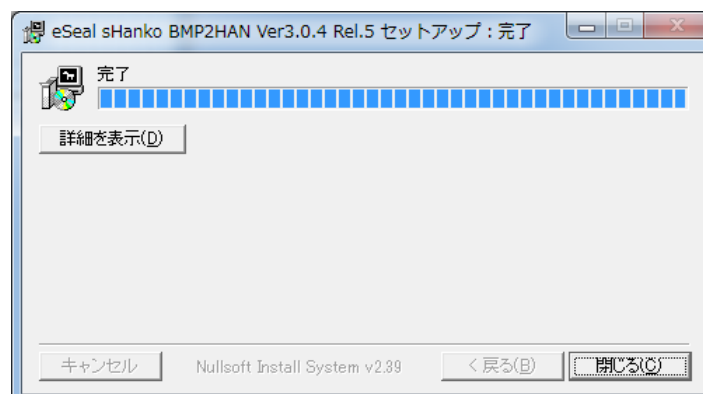
(右図)



「完了」が表示されればインストールは終了です。

ボタン[ 閉じる ]をクリックし、インストーラを終了します。

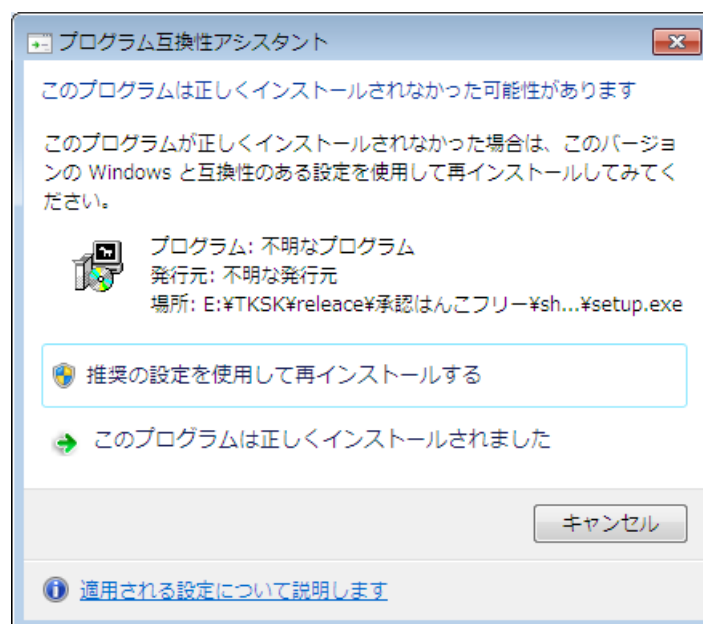
(右図)



注意) Windows 7/Vistaの場合、インストール終了後、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります。」と表示されることがあります。

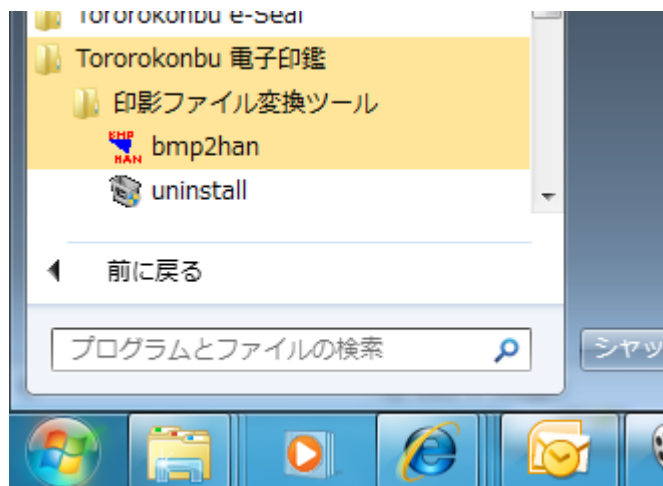
「このプログラムは正しくインストールされました。」を選択します。

(右図)



インストールが終了すると、スタートメニューにインストールした実行モジュールが登録されています。

(右図)



参考) 印影変換ツール bmp2han の操作環境は Windows ディレクトリ下の hanko.ini に書き込まれます。

Windows7	C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\VirtualStore\Windows
WindowsVista	C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\VirtualStore\Windows
WindowsXP	C:\WINDOWS\hanko. ini

### 2-3. インストールされるファイルとフォルダー

インストーラによりインストールされるファイルを下表に示します。

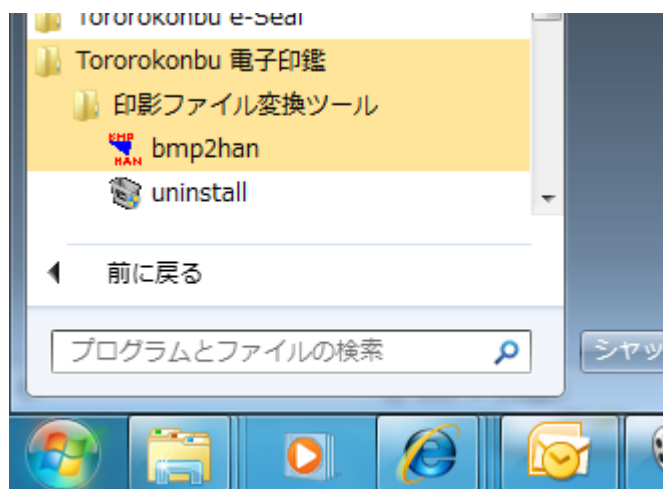
ファイル名	説明
bmp2han.exe	承認はんこ印影変換ツールの実行モジュール
uninstall.exe	アンインストーラ

### 2-4. アンインストール

スタートメニューから  
[uninstall]  
を選択します。

アンインストーラが起動します  
ので、指示に従ってください。

(右図)



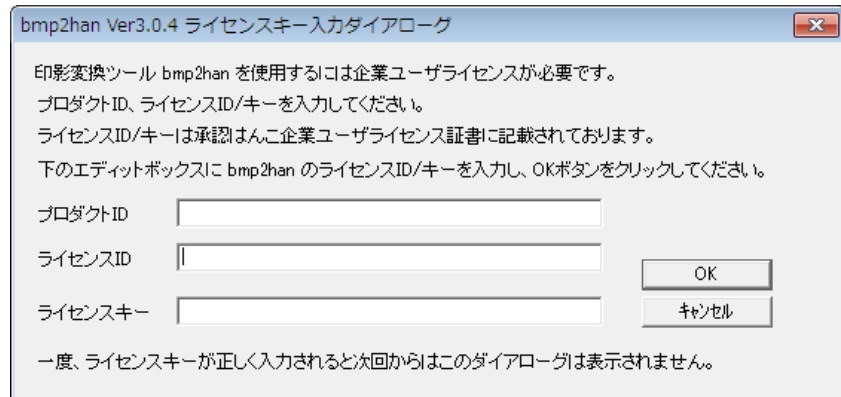


### 3. ライセンス設定

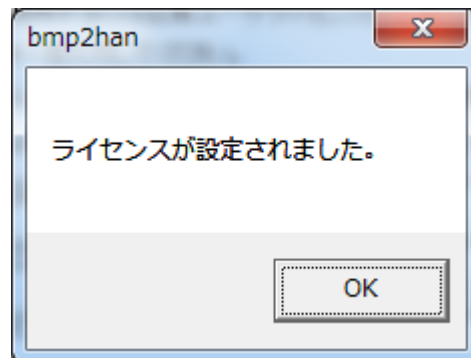
印影ファイル変換ツール bmp2han を使用するにはライセンスキーの設定が必要です。

スタートメニュー  
[ Tororokonbu 電子  
印鑑 : 承認はん  
こ : 印影ファイル  
変換ツール ] を選  
択し、印影ファイル  
変換ツールを起動し  
ます。

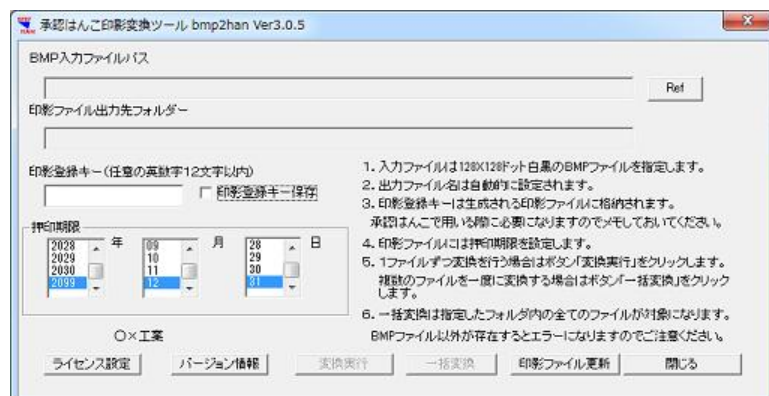
bmp2han を初めて  
起動した場合、プロ  
ダクト ID 及びライ  
センス ID/キーの入  
力を求められます。  
(右図)



ライセンス証書に記  
載されているプロダ  
クト ID 及びライセ  
ンス ID/キーを入力  
し、OK ボタンをク  
リックしてください。  
ライセンスが設定さ  
れると「ライセンス  
が設定されました。」  
というメッセージが  
表示されます。(右  
図)



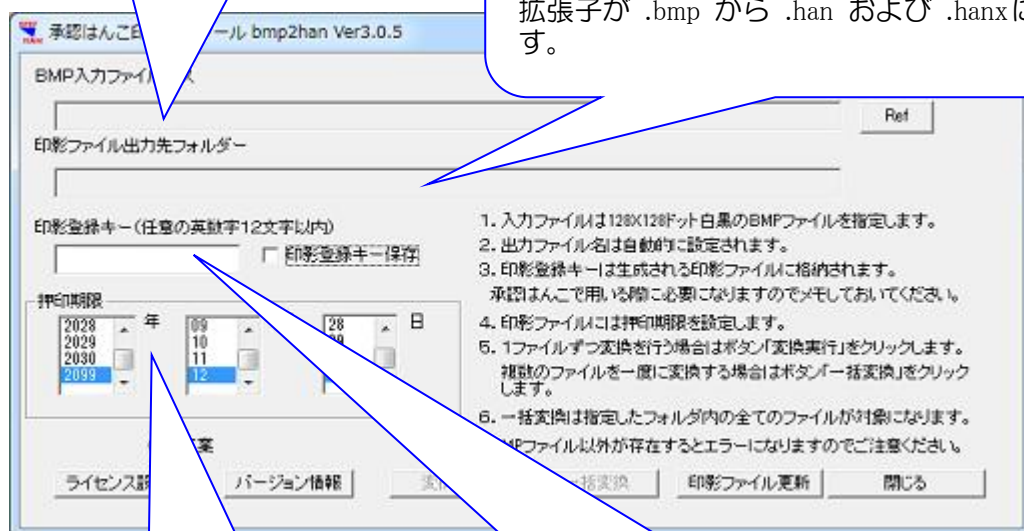
ライセンスキーが正  
しく設定されれば印  
影ファイル変換ダイ  
アログが開きます。  
(右図)



## 4. メインダイアログ

作成したビットマップファイルパスを「BMP 入力ファイル名」にセットします。ボタン「参照」を用いると便利です。

出力ファイルパスは BMP 入力ファイルが置かれているフォルダーに自動設定されます。生成される印影ファイルは BMP 入力ファイルと同じフォルダに生成されます。ファイル名は同一で、拡張子が .bmp から .han および .hanx に変わります。



印影登録キーを設定します。  
登録キーは印影ファイルに格納されます。印影ファイルを承認はんこで使用する際に必要になりますのでメモしておいてください。  
印影登録キーを毎回設定するのが面倒な場合はチェックボックス「印影登録キー保存」にチェックを付けます。bmp2han を次回起動した際、印影登録キーが今回設定したものに自動設定されます。

押印期限を設定します。  
この設定した使用期限を過ぎると承認はんこでの押印が出来なくなります。

ボタン	説明
変換実行	1 ファイル単位で変換が実行されます。
一括変換	複数の印影ファイルを一度に変換する際に用います。
印影ファイル更新	印影ファイルの押印期限を再設定します。
ライセンス設定	ライセンスを再設定する際に用います。
バージョン情報	バージョンが表示されます。
閉じる	終了します。

## 5. 変換

1つのBMPファイルを印影ファイルへ変換する手順について説明いたします。

### 5-1. ビットマップファイル（拡張子 .bmp）の準備

印影ファイルの元になるビットマップファイル（BMP ファイル）を用意します。

128X128ドット白黒2値のビットマップで印影を作成してください。

作成方法について詳しくは「Appendix A 印影ファイルの作成」をご覧ください。

下の図は「籠橋」という印影をペイントブラシで作成しているところです。



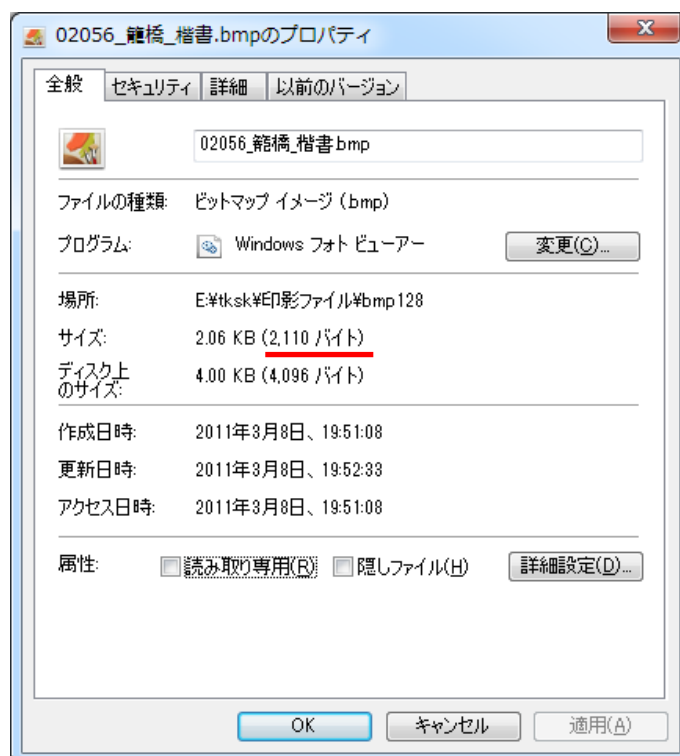
作成したビットマップファイルは2110バイトになります。

ファイルのプロパティを開き、サイズが2110バイトになっていることを確認してください。

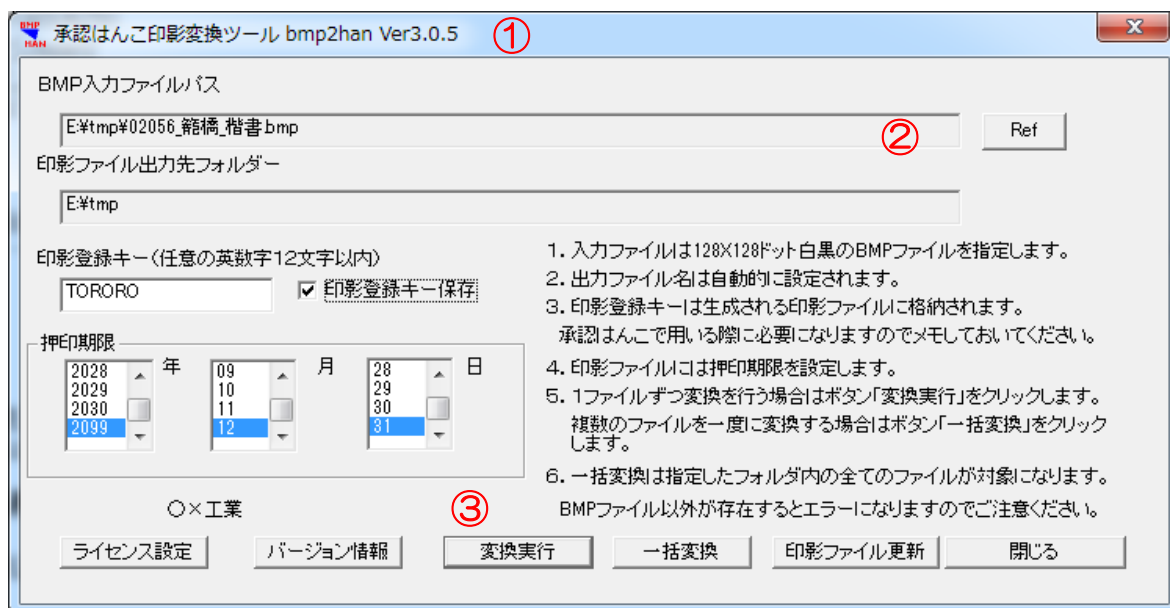
2110バイトになっていない場合は、

- ・モノクロ2値になっているか
- ・サイズが128X128 になっているか

を確認してください。



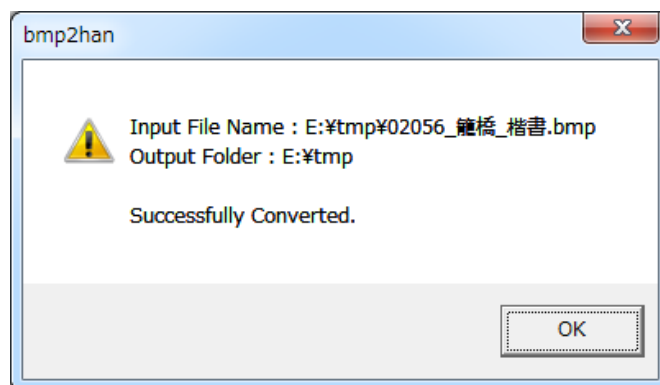
## 5-2. 変換



- ① 承認はんこ印影変換ツール bmp2han を起動します。
- ② ボタン[Ref]を用いて BMP 入力ファイルパスを設定します。
- ③ ボタン[変換実行]をクリックします。

右のメッセージボックスが開けば変換は正常終了しています。

印影ファイル出力先フォルダーに印影ファイル（拡張子 .han と .hanx）が生成されています。



## 6. 一括変換

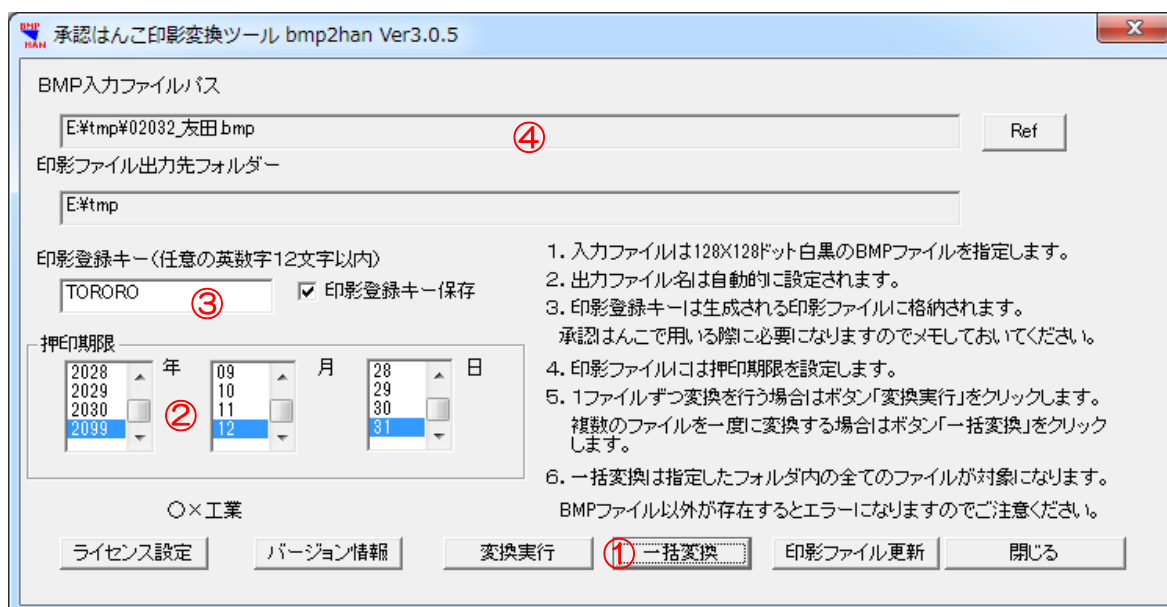
複数の印影ファイルへの変換をまとめて一度に行うことができます。

手順1) 変換するビットマップファイルを同一のフォルダ下に置きます。

BMP ファイル以外はこのフォルダー内に置かないでください。BMP ファイル以外のファイルがあると、エラーになりますのでご注意ください。

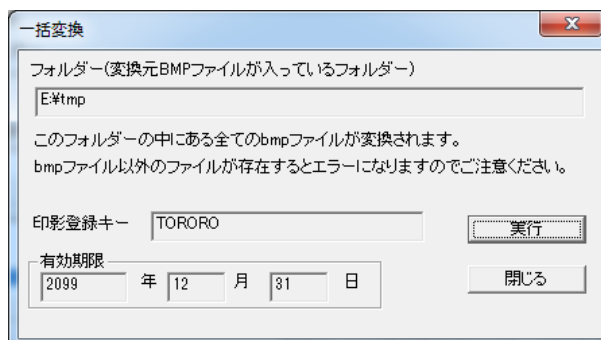
手順2)

- ① 任意の1つのビットマップファイルパスを「BMP 入力ファイル名」にセットします。  
どれでもかまいませんので1つ選んでください。

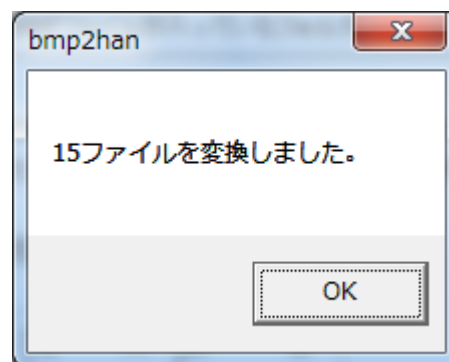


- ② 印影登録キーを設定します。
- ③ 押印期限を設定します。
- ④ ボタン「一括変換」をクリックします。

手順3) 右の確認メッセージボックスが開きますのでボタン「実行」をクリックします。



手順4) 変換が正常に終了すると右のメッセージボックスが表示されます。



全ての BMP ファイルはバイナリー形式の印影ファイル(拡張子 .han)と XML 形式の印影ファイル(拡張子 .hanx) に変換されます。

## 7. 印影ファイル更新

印影ファイル(拡張子 .han および 拡張子 .hanx)の押印期限を再設定することができます。印影ファイルの元になるbmpファイルがなくても印影ファイルの押印期限を再設定することができます。

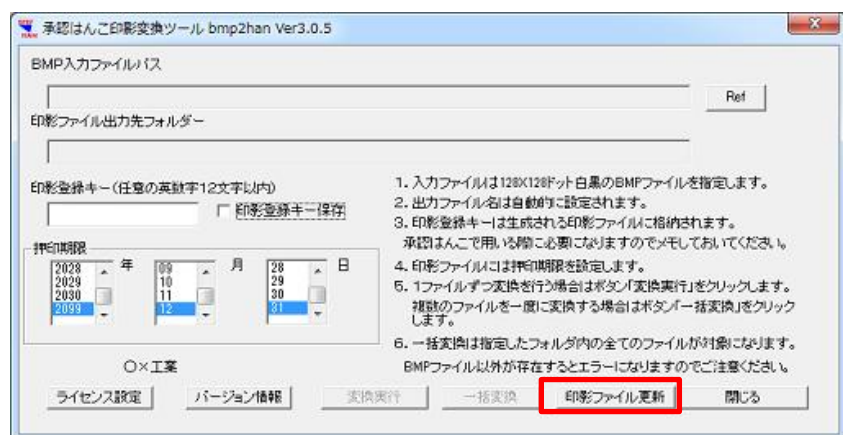
ただし、押印期限を延長できる印影ファイルはライセンス ID が一致する場合だけです。印影ファイルに保持されているライセンス ID が bmp2han に設定されているライセンス ID と一致した場合のみ、押印期限を再設定することが可能になります。

押印期限が再設定された印影ファイルはファイル名に \_new がついて保存されます。元の印影ファイルには変更は加えられません。

印影ファイルとしてバイナリー形式の印影ファイル(拡張子 .han)を設定した場合は、バイナリー形式の印影ファイル(拡張子 .han)と XML 形式の印影ファイル(拡張子 .hanx) の両方が生成されます。

印影ファイルとしてXML形式の印影ファイル(拡張子 .hanx)を設定した場合はXML形式の印影ファイルのみが生成されます。

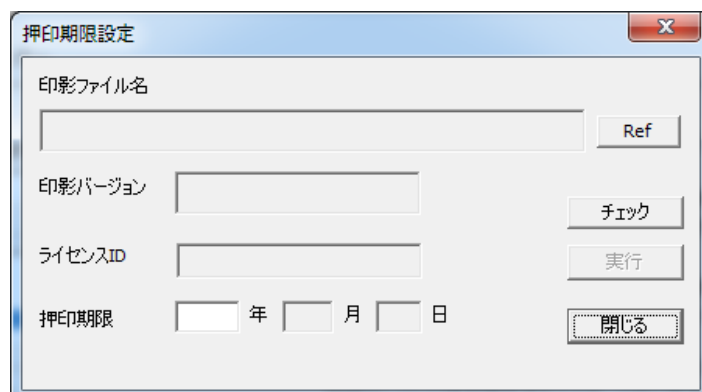
ボタン[印影ファイル更新]をクリックします。  
(右図)



押印期限設定ダイアログが開きます。

ボタン[Ref]を用いて押印期限再設定を行う印影ファイルを選択します。

ボタン「チェック」をクリックします。  
(右図)



ボタン[実行]をクリックします。

印影ファイルのライセンスIDが bmp2han に設定されているライセンスIDと一致しない場合は「実行」ボタンはアクティブになりません。

押印期限設定

印影ファイル名  
E:\tmp¥02032\_友田.han Ref

印影バージョン  
Ver3 チェック

ライセンスID  
☒ ×工業 実行

押印期限  
2099 年 12 月 31 日 開じる

印影ファイルの押印期限が変更され、ファイル名に \_new がついて保存されます。



## Appendix A 印影ファイルの作成

### 印影ファイル作成の大まかな手順

- 1) 印影をビットマップファイル(.bmp)として作成します。  
サイズ 128X128 ピクセル、白黒2値（モノクロ）で作成します。
- 2) 作成した BMP ファイルを 印影ファイル(.han)に変換します。  
変換には印影ファイル変換ツール bmp2han.exe を用います。

印影をビットマップファイルとして作成します。

ビットマップファイルの作成は Windows に標準装備されている「ペイント」を用いることができますが、イラストレータなどの他のアプリケーションを用いてもかまいません。以降の説明では「ペイント」を用いた場合について説明いたします。

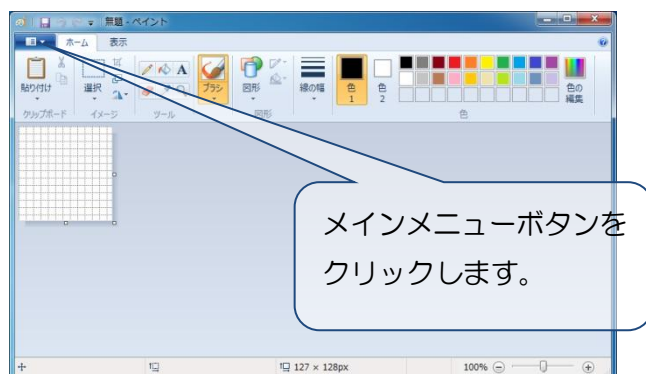
Windows に標準で備わっている「ペイント」は Windows7/Windows Vista と WindowsXP とでは操作方法が大きく異なります。別々に説明いたします。

【参考】WindowsXP に付属しているペイントの方が印影ファイル作成に適しているようです。

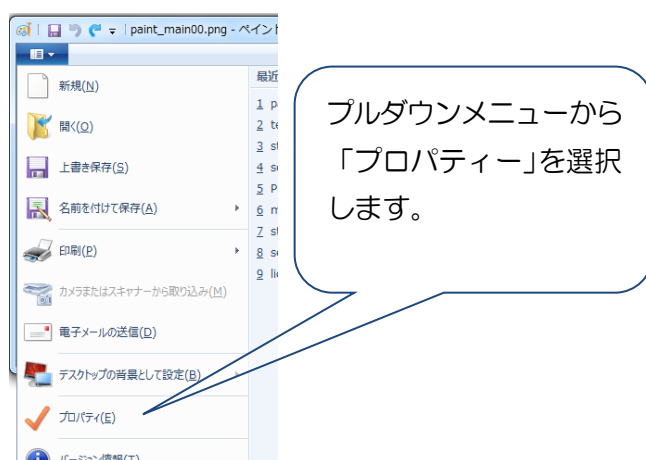
## 【Windows7/Windows Vista の場合】

Windows のスタートメニューから「プログラム-アクセサリ - ペイント」を選択し、ペイントを起動します。

メインメニューボタンをクリックします。



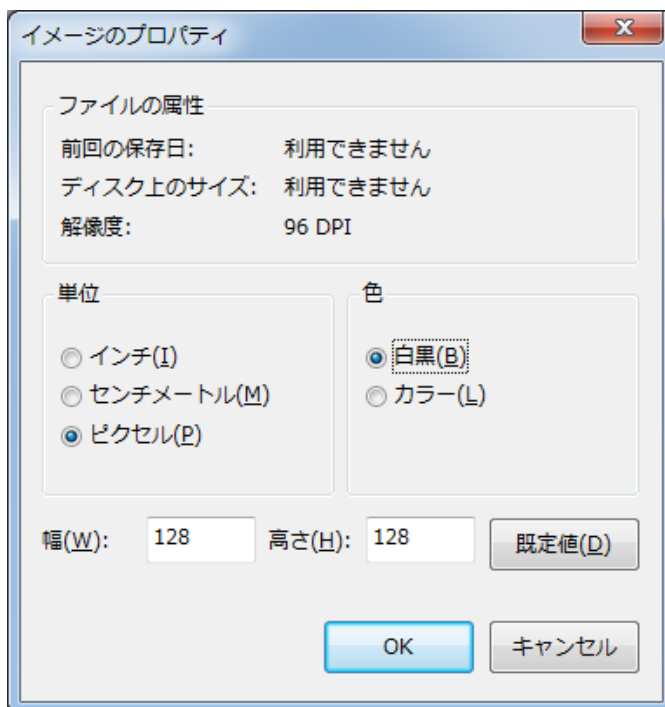
プルダウンメニューから「プロパティ」を選択します。



キャンパスの色とサイズを次のように設定します。

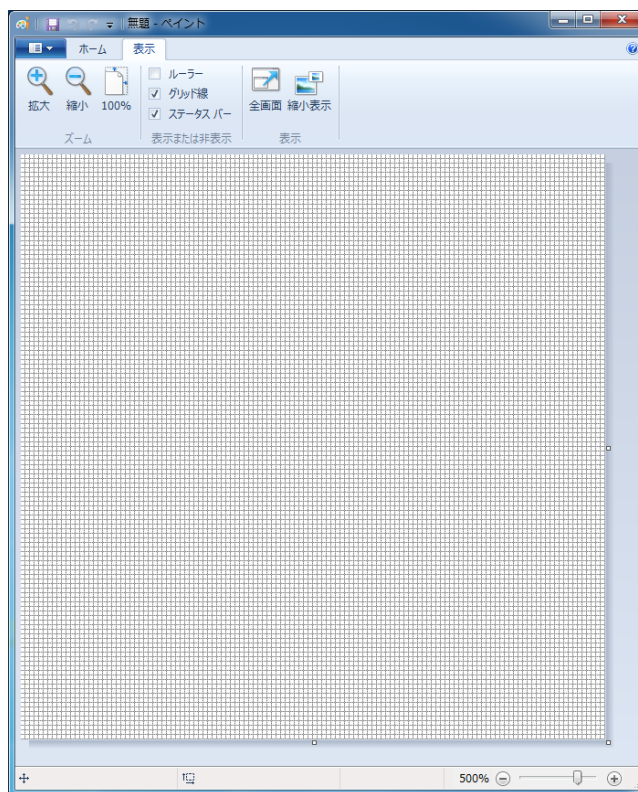
幅：128ドット  
高さ：128ドット  
単位：ピクセル  
色：白黒

注) 印影変換ツール bmp2han 付属の TEMPLATE.BMP を開けば自動的に上記の設定になります。



印影の描き方は様々ですが、一般的な方法を説明いたします。

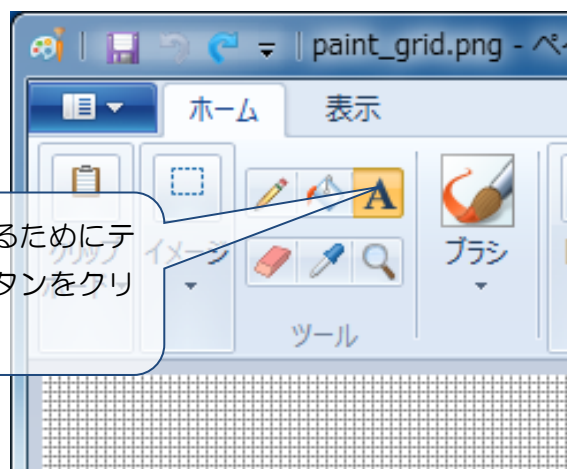
表示タブを開き、適当に拡大し、グリッド線を表示すると作業がやり易くなります。



文字を入力するためにテキスト入力ボタンをクリックします。

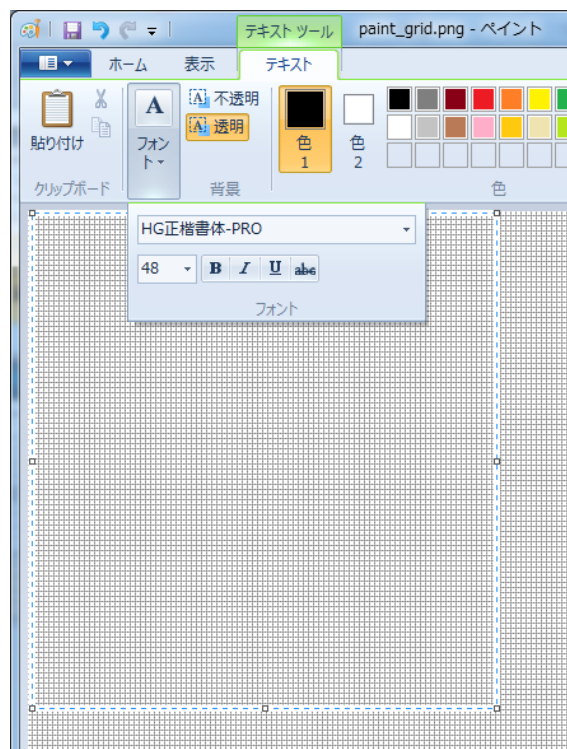
。

文字を入力するためにテキスト入力ボタンをクリックします。

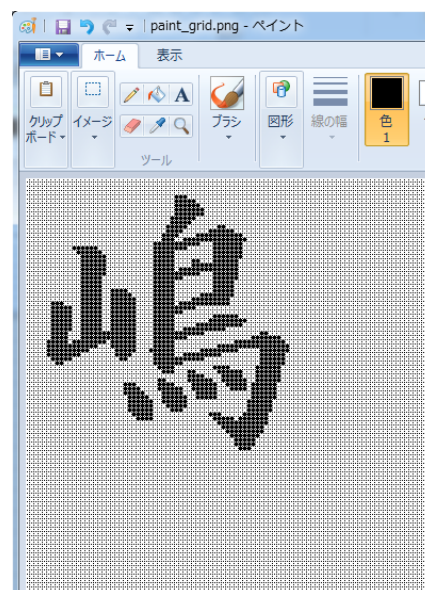


文字を入力するエリアを指定し、フォントと文字サイズを選択します。

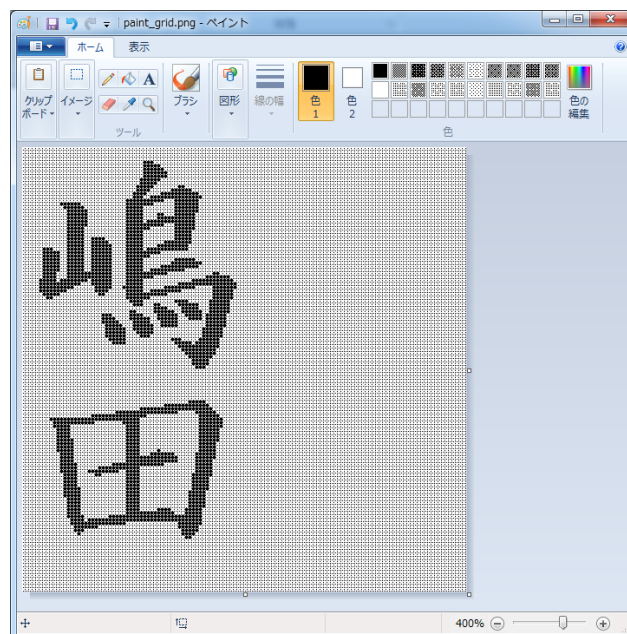
2文字の印鑑でしたら48ポイント、3文字の印鑑でしたら33ポイントぐらいが適当です。



1文字目を入力します。

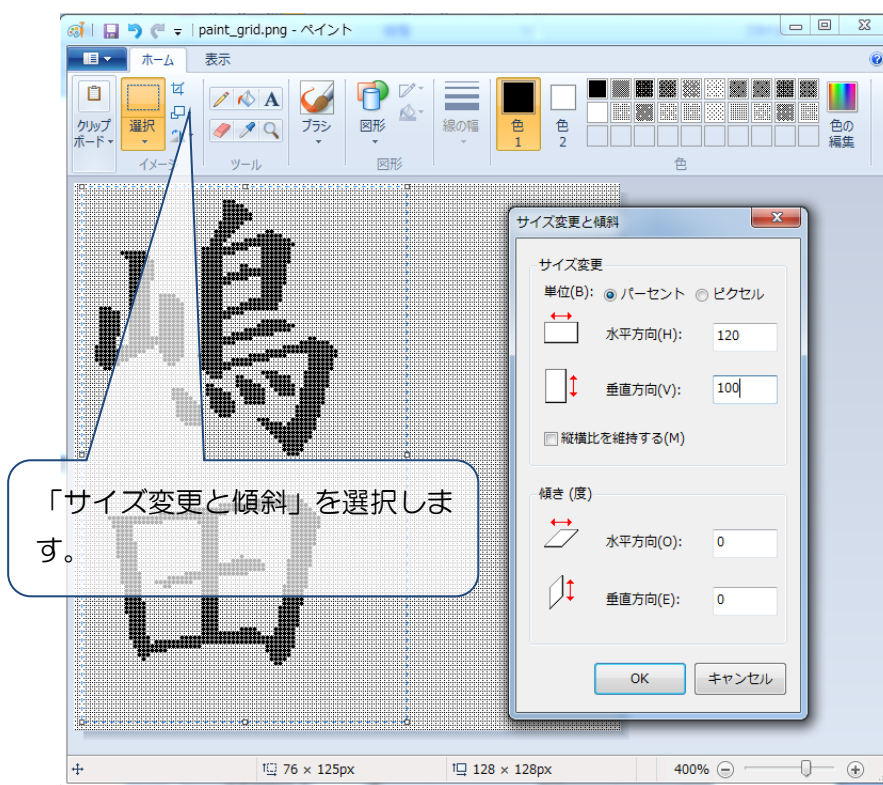


1文字目の下に同様の操作で2文字目を挿入します。



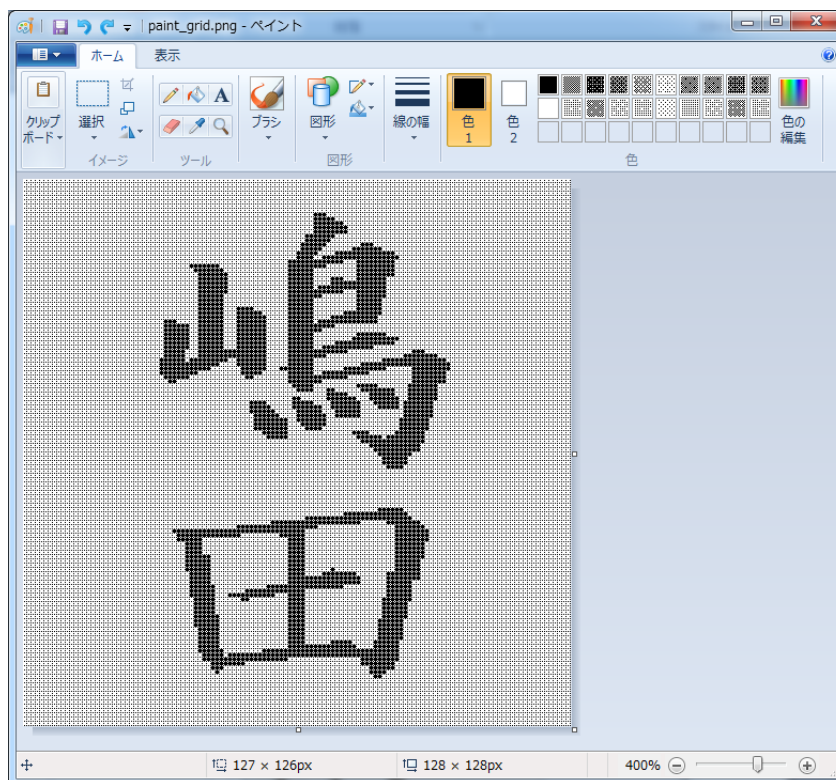
挿入した2文字を囲みます。

「サイズ変更と傾斜」を選択し、文字を適当に横伸ばしします（任意）。

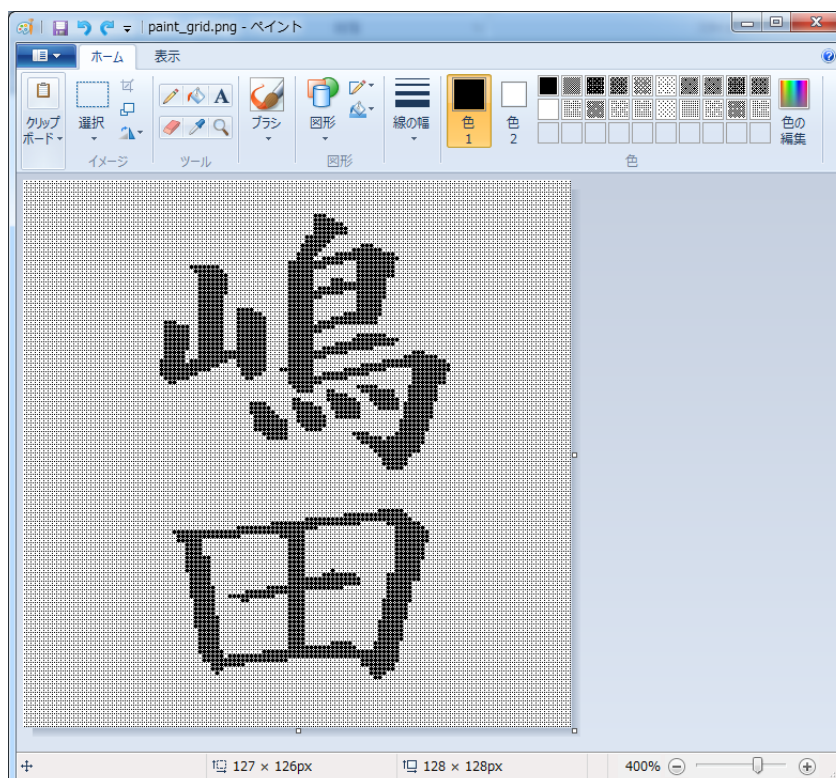




文字を中央に移動し、  
文字間を適当に詰めます。

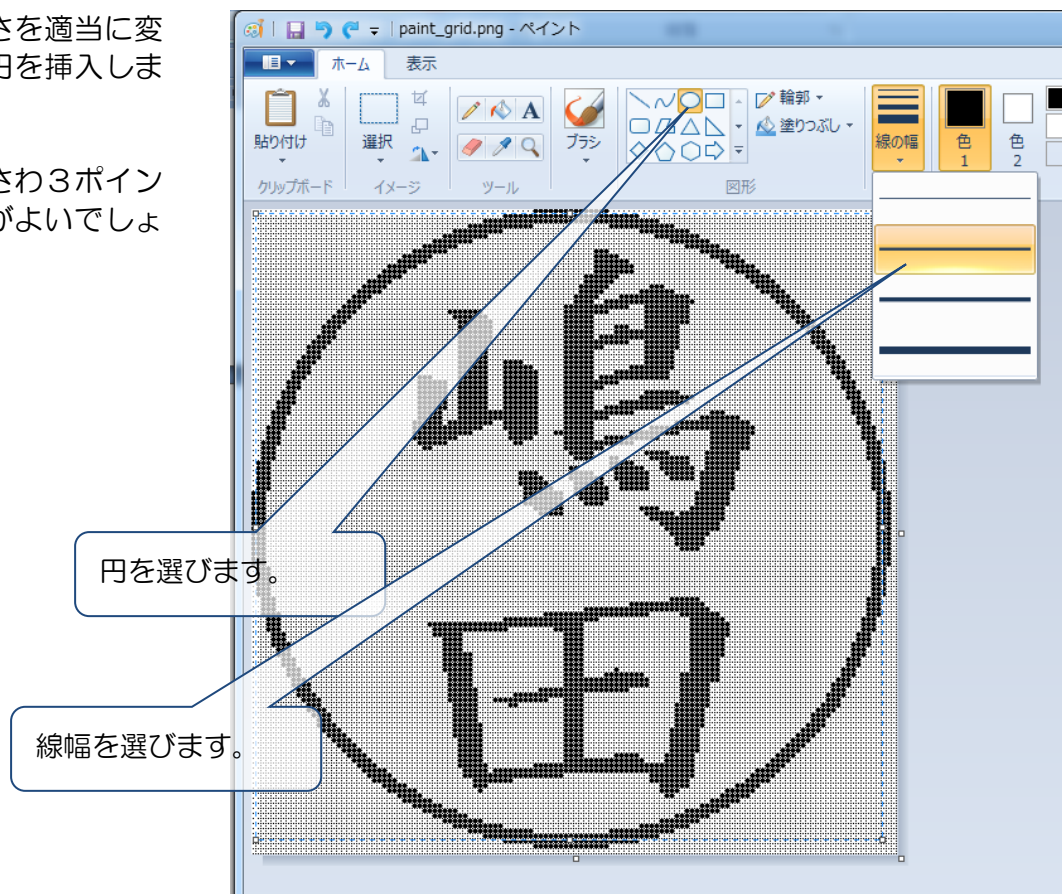


文字を中央に移動し、  
文字間を適当に詰めます。

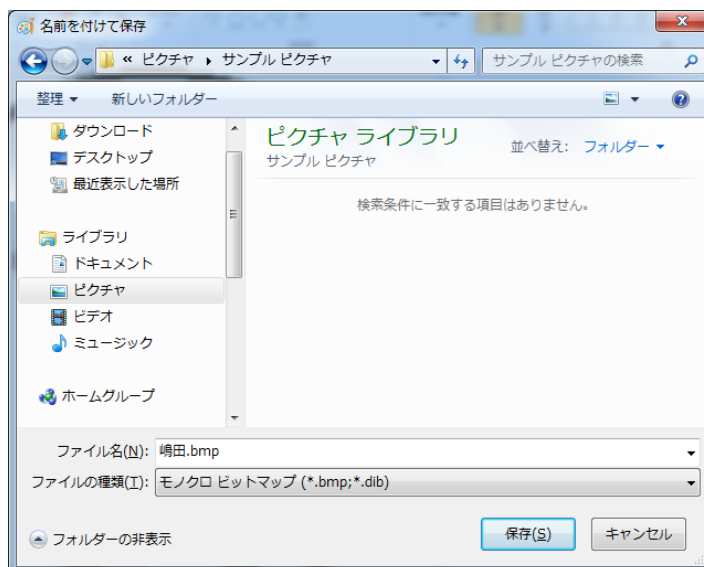


線の太さを適当に変更し、円を挿入します。

線の太さわ3ポイント程度がよいでしょう。



モノクロビットマップとして保存します。



ファイルサイズは2110バイトになっているはずです。

念のため確認します。



これで、印影ファイルの基になる印影ビットマップファイルは完成です。印影ファイル変換ツール bmp2han を用いて印影ファイルに変換することができます。



## 【WindowsXP の場合】

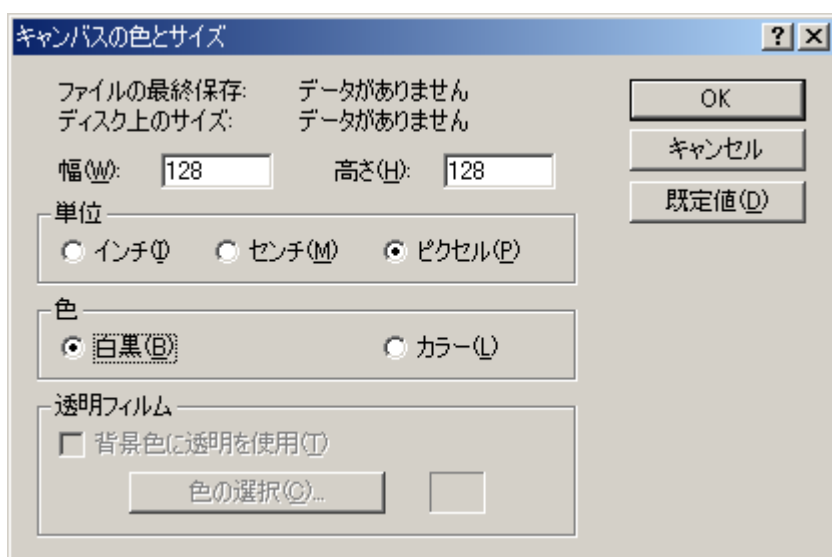
Windows のスタートメニューから「プログラム-アクセサリ – ペイント」を選択し、ペイントを起動します。メニュー「変形 – キャンパスの色とサイズ」を選択し、キャンパスの色とサイズを次のように設定します。

サイズ：128ドット×128ドット

単位：ピクセル

色：モノクロ

注) 印影変換ツール bmp2han 付属の TEMPLATE.BMP を開けば自動的に上記の設定になります。



## A-3. 印影を描く

印影の描き方は様々ですが、一般的な方法を説明いたします。

注意) 操作をやり易くするために表示を拡大すると文字が挿入できないようです。

手順1) 拡大表示している場合は標準に戻します。

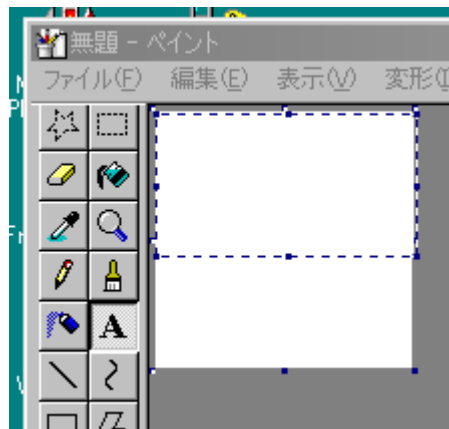
メニュー「拡大」⇒「標準に戻す」

手順2) 文字を挿入するため操作パネルが



を選びます。

手順3) 文字を挿入するための枠をマウスで設定します。



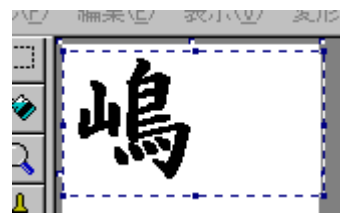
手順4) 書式バーが表示されていない場合は表示します。

メニュー「表示」⇒「書式バー」

手順5) フォントは任意ですがここでは「HG正楷書体」を選びます。  
フォントサイズは48で太文字にします。




手順6) 1文字目を入力します。



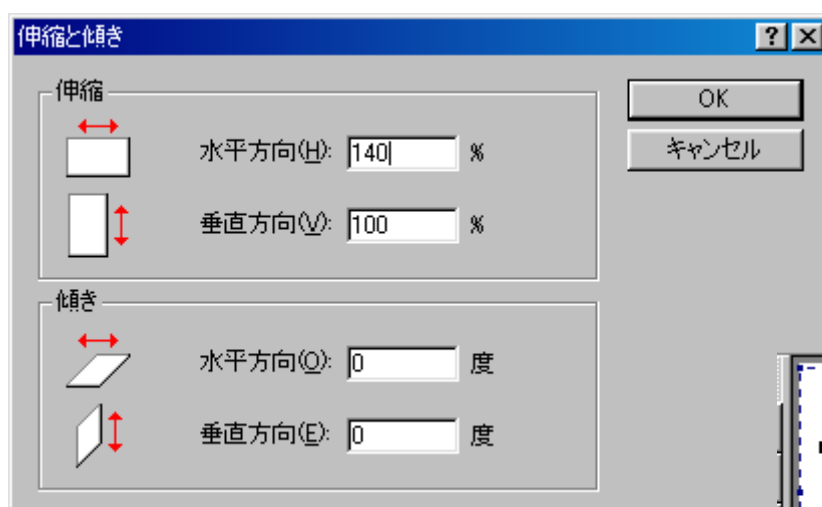
手順7) 1文字目の下に同様の操作で2文字目を挿入します。



手順8) 挿入した2文字を囲みます。  
ボタン  を選択し「嶋田」を囲みます。



手順9) メニュー「変形」⇒「伸縮と傾き」を選びます。




手順10) 水平方向へ伸縮します。  
伸縮率は140%から160%ぐらいが適当です。

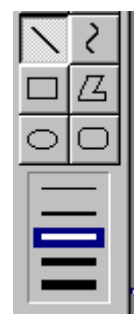



手順11) 文字を中央に移動し、文字間を適当に詰めます。  
表示を拡大し、グリッドを表示すると操作がやりやすいです。  
グリッドの表示はメニューから「表示」⇒「拡大」⇒「グリッドを表示」です。



手順 1 2) 線の太さを変更するため一旦、ポインタ  をクリックします。

手順 1 3) 線の太さを変えます。



手順 1 4) ボタン  を選び、印影の丸を挿入します。



手順 1 5) ファイルします。

このときファイルサイズは 2 1 1 0 バイトになっているはずです。

注) .印影ファイルをビットマップ 128X128 ドットモノクロで作成すると通常はファイルサイズが 2110 バイトになりますが、ペイントブラシ以外のアプリケーションを用いて作成した場合まれに 2112 バイトになることがあります。

【対策】一度ペイントブラシで開き、一旦カラーで保存後、再びモノクロで保存してください。2110 バイトになります。

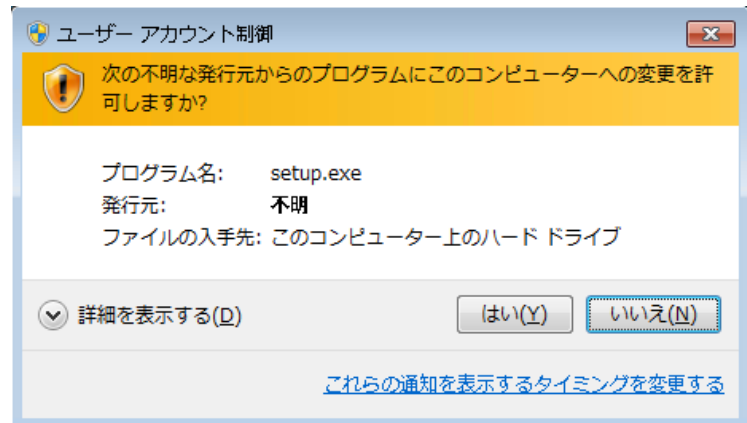
## Appendix B. セットアップツールに付加されているデジタル証明書について

承認はんこのインストーラ setup.exe には グローバルサイン社発行のとろろこんぶシステム工房 代表 小野寺健一(Kenichi Onodera) のデジタル証明書が付加されています。

パソコンにグローバルサイン社のルート証明書がインストールされていない場合はインストーラ実行時に次のメッセージが表示されます。

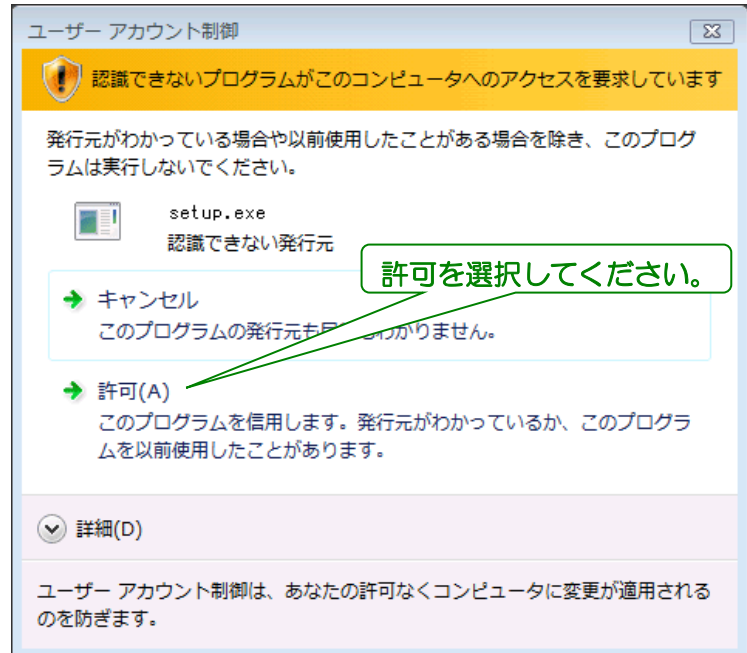
## 【Windows 7 の場合】

右図の表示が出ますのでボタン「はい」をクリックしてください。



## 【Windows Vista の場合】

「認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています」と表示されますので、「許可 (A)」を選択してください。



パソコンにインストールされているルート証明書はインターネットエクスプローラのオプションで確認することができます。

おわり